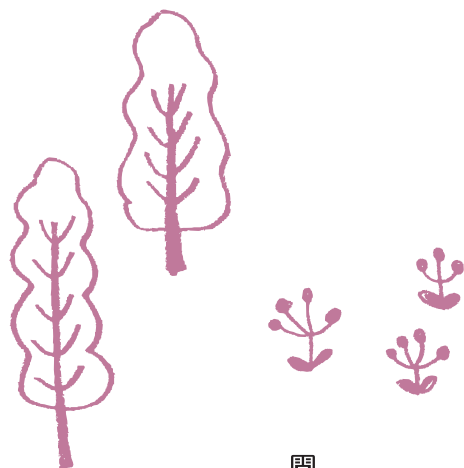




その他

愛知県内一斉
ノー残業デー



「あいちワーク・ライフ・バランス推進協議会」では、11月第3水曜日を「愛知県内一斉ノー残業デー」として定め、働き方を見直す契機となるよう普及啓発に取り組んでいます。11月20日(水)は効率的に仕事を進め定時に退社し、趣味や家族との団らん等の時間をお過ごしください。

県労働福祉課
(協議会事務局)

052-954-6360

全国瞬時警報システム
(Jアラート)

全国一斉
情報伝達試験



避難所、避難場所等に設置している防災行政無線の屋外拡声スピーカーについて、地震・津波や武力攻撃等の発生時に備え、全国一斉情報伝達試験を行います。

なお、災害発生等の理由により急きょ日時の変更または中止する場合があります。最新情報は市ホームページでご確認ください。

時 11月20日(水) 11時～
場 市内全域

放送内容

♪上りチャイム
「これは、Jアラートのテストです。」×3回
「こちらは、半田市です。」
♪下りチャイム

防災安全課

84-0626

ごん吉くんレポート ～南吉よもやま話～

第75回

始まりは1本の書棚でした

南吉記念館の前身は「南吉資料室」ですが、そのまた前身があることは皆さんご存知でしょうか?始まりは、南吉の母校、岩滑小学校(旧・半田第二尋常小)の応接室に置かれた1本の書棚です。置いたのは、同校の教諭だった大石源三氏^{おおしげんぞう}でした。地元における南吉研究の第一人者であり、後に南吉顕彰会の事務局長も務められました。

昭和33、4年頃、大石氏は書棚を「新美南吉文庫」(写真①)と名付け、南吉の童話集や紙芝居、雑誌などを集め始めました。このことを知った南吉の中学時代の同級生や安城高等女学校時代の教え子らからは、南吉の自筆原稿や写真、卒業アルバムなどが寄せられ、文庫は充実していきました。その後、大石氏が同校から異動したことを機に、文庫は岩滑公民館の中へ移設され、昭和52年、岩滑コミュニティセンター開館に合わせて、センター内の一室に「南吉資料室」がオープンしたのです。南吉の貴重な資料にふられる場所として、南吉ファンや研究者など多くの人が訪れました。

時は経って平成6年6月5日、南吉記念館が同じ岩滑に開館しました(写真②/平成6年)。それから30年。現在、当館では、企画展「新美南吉記念館 開館30年の歩み」を開催中です。開館前から今までの活動の記録や南吉にまつわる出来事をご紹介します。ぜひ一度ご来館ください。



①



②